

本学海外初となる上海中学における高大連携事業（出前授業）を支援しました。

2013年9月15日－18日の日程で、上海中学（高校）において実施された本学として海外初となる高大連携事業（出前授業）を支援しました。この事業は、2013年度の学内経費「グローバルコモンズ連携プログラム」により、環境教育に係わる出前授業として実施されたものです。上海中学側の要請内容に応じて、中国事務所副所長の楊 英男准教授を始めとする本学生命環境系の教員5名が同校を訪問し、2013年に新しく設置された「環境教育特別クラス」の学生約30名を対象として、環境キャパシティービルディング、水質汚染、土壌汚染、湖沼汚染、廃棄物汚染等を中心とした汚染のメカニズムとその対策に関連する授業を行い、学生との質疑応答が交わされました。また、授業終了後、数グループに分かれ、学生自身がこれから実施する環境関連研究テーマ等についての相談と指導が行われました。本事業は、「グローバルコモンズ連携プログラム」の趣旨に基づき、参加教員とともに本学事務職員、中国事務所上海教育研究センターの王 太芳現地職員とも協働して実施されました。中国事務所からは前記の2名の他、田中 正事務所長も参加しました。今回の高大連携事業は、海外における初の試みでしたが、受講学生や学校側の反響も大きく、また、茨城県上海事務所が取材に訪れるなど、関係機関等においても大きな関心が寄せられました。関連記事は、以下のURLにも掲載されています。ご参照下さい。

本学生命環境科学研究科 HP :

<http://www.life.tsukuba.ac.jp/activity/kokusaikouryu.html>

上海中学 HP :

<http://www.shs.sh.cn/shs.action?methodd=list&ccid=14187> (2013.9.15)

<http://www.shs.sh.cn/shs.action?methodd=list&ccid=14204> (2013.9.16)

茨城県上海事務所 HP :

<http://www.shanghai.pref.ibaraki.jp/>



出前授業の様子



授業後のグループディスカッション